

第4回 西区協議会

日時：令和4年7月27日（水）

午後1時30分～

会場：舞阪協働センター1階 ホール

次 第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 協議事項
第3号 令和4年度西区市民活動表彰について
- 4 その他
 - (1) 今後の開催予定
- 5 閉会

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	令和4年度浜松市西区市民活動表彰について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>【概要】 市民活動表彰における区長賞表彰団体を決定するにあたり、西区協議会に意見を求めるもの。</p> <p>【経緯】 西区行政推進会議にて審議 (R4. 7. 12 開催) 西区協議会にて協議、意見聴取 (R4. 7. 27 開催) 区長賞表彰団体を決定 (R4. 7 月末予定)</p> <p>※市民活動表彰 市民主体のまちづくりの推進を図るため、優れた市民活動を行った団体を表彰するもの。</p>				
対象の区協議会	西区協議会				
内 容	<p>【団体名】 舞阪の自然を守る会</p> <p>【活動内容】 別紙「浜松市西区市民活動表彰選考資料」のとおり</p>				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)					
担当課	西区区振興課	担当者	山本 淳	電話	5 9 7 - 1 1 1 2

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

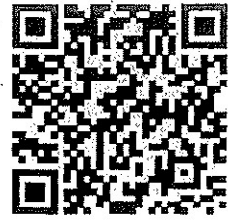
浜松市西区市民活動表彰選考資料

(ふりがな) 団体名	(まいさかのしぜんをまもかい) 舞阪の自然を守る会	(ふりがな) 代表者氏名	(とおやただはる) 遠矢忠晴
e-mail		電話番号	
		FAX 番号	
団体設立年月	平成 4 年 4 月 1 日	団体員数	80 名
団体活動目的	舞阪の自然を保護し、美しい自然を次の世代に伝えること		
これまでの 主な活動実績	いかり瀬の自然と海浜植物の保護、環境美化ポスター・標語の募集、コアジサシの保護（保護柵作り）、アカウミガメ放流会		
P R し た い 活 動 実 績 の 概 要	活動名	舞浜の自然を保護する活動	
	活動の期間	下記「内容」欄を参照	
	活動財源 該当するもの全 てに○	行政からの補助金・ 団体会費 ・ 寄附 ・当該活動により得た収益 その他 （企業からの助成金）	
	活動のきっかけ	平成 3 年 6 月、サンクチュアリジャパンから、表浜のコアジサシのコロニーの保護依頼があったことがきっかけ。 平成 4 年 4 月、町内各団体に呼びかけ保護柵作りと会が発足	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・いかり瀬の自然と海浜植物保護活動（漂着ゴミ拾いや外来雑草の抜き取り、海浜植物群落の確認など）：3月～9月（いかり瀬渡船可動期） ・舞阪町民の森の清掃活動：通年（年 6 回程度） ・小中学校による環境美化ポスターや標語の募集と表彰・展示：隔年 ・ホームページによる活動報告（ちゅうなあ通信の発行）：毎月 ・表浜におけるウミガメ、コアジサシの見守り、観察会の開催：通年 	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・舞阪地区の自然の保護に寄与するだけでなく、活動を通じて若い世代への自然保護の意識、地元への関心を高めることにつながっている。 	
	この活動について更に発展させたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の小中学生には観察会への参加や環境美化ポスター・標語の募集を、高校生にはいかり瀬の自然保護活動に参加を呼びかけることで、若い世代への自然保護の意識を高めることにつながり、今後の活動の発展が期待される。 	
	活動に協力した団体等	行政・企業・NPO・ 学校 ・市民・ その他 （下記参照）	
協力の内容		<ul style="list-style-type: none"> ・地元舞阪と雄踏のガールスカウトは毎年参加協力 ・いかり瀬の保護については、市内でゴミ拾い活動をしている団体と協働して活動している 	

NO.344 令和4年 6月

ちゅうなあ通信

舞阪の自然を守る会 事務局：053-592-0795



舞阪の自然を守る会ブログ

行事報告

5/3 (日) いかり瀬雑草の抜き取りと観察会 9:00~11:30

今年も県自然保護課の呼びかけで県内の高校7校、約30名の参加がありました。見渡す限りのナルトサワギクがわずか40分ほどですべて抜き取られ、大勢で取り組む威力や効果を実感させられました。

ハマヒルガオやハマボウフウなどの観察や自然を楽しむ時間にも余裕ができ、予定より早く解散することができました。

5/22 (日) 浜松リパティライオンズクラブの会員9名が雑草の抜き取りに参加してくれました。シバムギが一面にまん延しているため、一角の抜き取りをお願いしました。抜き取り前と後の写真を比べると効果は歴然でした



5/3 参加してくれた高校生たちの集合写真

5/22 リパティライオンズクラブ作業風景

行事予定

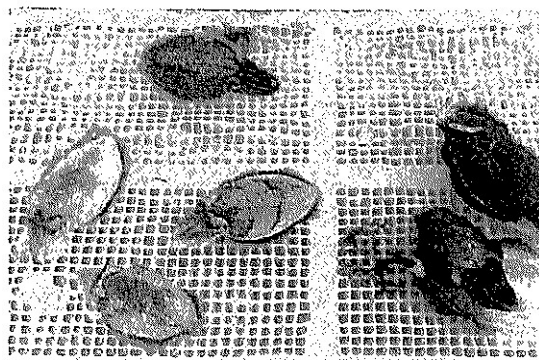
6/5 (日) 浜名湖クリーン作戦 会員各自 最寄りの集合場所にて参加

13 (月) 一企業のボラ活動としていかり瀬のゴミ拾いに参加 9:00~

26 (日) 浜名湖フォーラムと合同でいかり瀬の自然保護活動 9:00~

お魚歳時記

担当は氏原一郎さん



イカと言えばヤリイカやスルメイカを想像しますが浜名湖にイカといえば甲が大きなコウイカ・モンコウイカが育ちながら水揚げされています。春と共に藻場に産卵したコウイカは7月頃から孵化して浜名湖で育ち、今切から海を目指していきます。別名スミイカと呼ばれるほど大量のスミを吐きます。そのスミはかつてはインクに使われていてセピア色はイカのスミの色のことです

浜名湖の自然

加藤弘行先生

もうせんごけ

今回は、「もうせんごけ」を紹介します。もうせんごけ科に属します。漢字では毛氈苔となります。命名の由来は、この植物の葉がやや赤色で地面に緋毛氈を敷き詰めたように群生するためです。

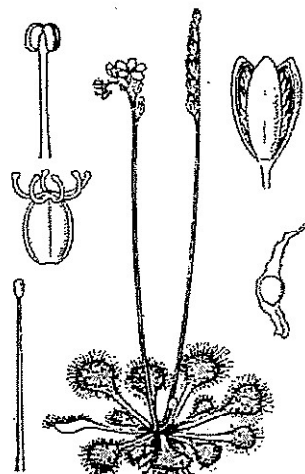
この植物の最大の特色は、食虫植物ということにあります。直径1 cm程度の葉の裏には、3~5 mm程度の腺毛があり粘液が付いています。蟻やしょうじょうばえ（腐りかけた果物に集まる小さなはえ）等の小動物が腺毛に付くと捕らえ消化してしまいます。小さな植物ですが、日本を代表する食虫植物です。葉緑素も持っていますので、光合成も当然します。

この植物のもう一つの特色は命名にあります。もうせんごけの「こけ」の部分です。名前だけでは、こけの仲間ということになります。ご存知のように、こけの仲間は花を咲かせません。もうせんごけは、6月中旬から下旬に可憐な花を咲かせますので、命名したほどの植物学者が見逃すはずがありません。こけの仲間ではないということが分かっているのに、命名に「こけ」という部分を付けたのは、こけのように地面にぴったりついた葉の様子を強調したかったものと思います。

葦毛湿原には、もうせんごけ、こもうせんごけ、ながばのもうせんごけ、さすまたもうせんごけ等があります。もうせんごけは白い花を咲かせます。こもうせんごけはピンク色の花を咲かせます。ながばのもうせんごけは葉が長く、さすまたもうせんごけは、葉の先が捕り物に使われたさすまたのようになっているため見分けられます。

もうせんごけの仲間は湿地に成育します。豊橋の葦毛湿原は、もうせんごけにとって大変良い環境のようでかなりの群落になっています。ながばのもうせんごけまで見られるかもしれません。以前にはありました。是非、お出掛けください。

平成14年6月



モウセンゴケ

舞阪の自然を守る会の取り組み



御 前崎から伊良湖岬まで続く遠州灘のちょうど真中に位置する舞阪の表浜海岸。毎年5月ごろからアカウミガメが上陸し、産卵します。オーストラリア方面からはコアジサシが飛来し、表浜やいかり瀬で産卵、子育てをします。

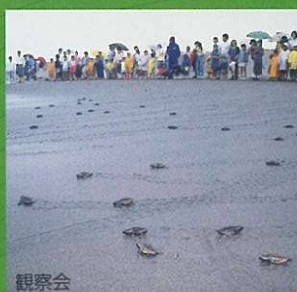
舞 阪の自然を守る会では、恵まれた舞阪の自然を守るため、アカウミガメやコアジサシの産卵を保護する活動をしています。ほかにも小さなカニや海鳥、海浜植物が息づく「いのちのゆりかご」である浜を守り、次の世代に豊かな美しい自然を伝えるため、さまざまな活動に取り組んでいます。

毎 月第2土曜日は表浜などで定例自然観察会を開催。いかり瀬の海浜植物群を保護し、観察周遊ルートを確認するための活動も始めました。

アカウミガメ



コアジサシの親子



観察会

美しい自然をいつまでも

舞阪で見られる鳥

Bird watching in Maisaka



キョウジョシギ



チョウゲンボウ



コアジサシ



インソビヨドリ



キアシシギ



オオソリハシシギ

表浜・いかり瀬

4月には南の国から渡ってきて、コロニーを作るコアジサシ。遠州灘を通り過ぎてゆくミズナギドリたち。草むらや砂地にはヒバリ、シロチドリなども巣を作ります。冬にはカモやカモメの仲間、カワウたちが、干潟で羽を休めます。



ユリカモメ



アジサシ

カワウ

ミコビシギ

ハシボソミズナギドリ



シロチドリ



ヒバリ



ダイセン



チュウシャクシギ



ムナグロ



アオサギ



コサギ



カワセミ



カワラヒワ



モズ



ホオジロ



シジュウカラ



メジロ



コガモ



パン



ハシビロガモ



ツグミ



ヒヨドリ



ジョウビタキ

吹上

ウナギやスッポンの養殖池がある吹上地区には水辺や草むらが残り、四季をとおして野鳥を観察することができます。カモやサギの仲間をはじめ、シジュウカラやカワセミの愛らしい姿にも出会えます。

舞阪ってこんな町...

浜名湖と遠州灘に抱かれた舞阪町は、江戸時代には東海道五十三次の宿場町として栄え、明治時代には鉄道の開通により弁天島が観光拠点として開けました。恵まれた水産資源や自然の景観を生かして早くから漁業や観光が営まれ、昔も今も人や物の交流が盛んです。



発行 舞阪の自然を守る会
〒431-0214 静岡県浜松市舞阪町弁天島2658-127
TEL・FAX 053-592-0795
協力 浜松市・サンクチュアリ ジャパン

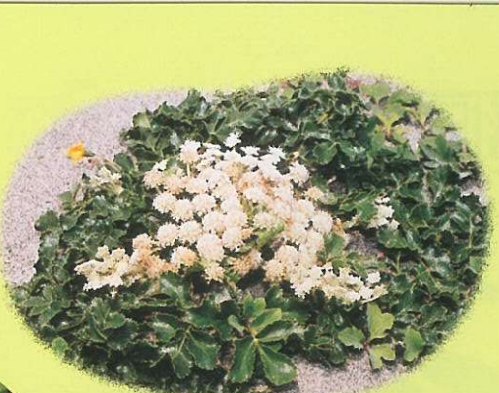


※掲載写真の無断転載・複製等の不正行為を禁じます。

保護に関するお問い合わせ先
舞阪の自然を守る会 ☎053-592-0795



ハマヒルガオ【4~6月】瀬
朝顔に似たピンクの花をつけ、葉には厚みがあり水分を蓄える。初夏の海岸に咲き乱れ見事な花畑を作る。



ハマボウフウ【6~8月】瀬
カリフラワーに似た白い花をつける多年草の海浜植物。地中にまっすぐ深く根を伸ばす。いかり瀬に大群落がある。



コウボウムギ【4~6月】瀬
ムギに似た穂をつける海浜植物で、たくましく育つ。雌雄異株でツツツした立派な穂を持つのが雌株。



▲ハマナシカズラ【8~10月】瀬 ▲ギシギシ【5~8月】浜吹



▲アキグミ【4~5月】瀬



▲カヤツリグサ【8~10月】浜吹



▲タカサブロウ【7~9月】吹



▲ノコンギク【8~10月】吹

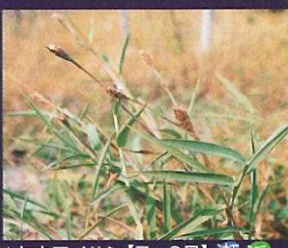
舞阪に 息づく 植物たち



主な生息地
 ●いかり瀬
 ●表浜
 ●吹上



▲オカジシキ【7~10月】瀬



▲ケカモノナシ【7~9月】瀬



▲テリハノイバラ【6~7月】浜



▲チガヤ【4~6月】浜吹



▲ハマダイコン【4~6月】瀬吹



コマツイグサ【4~8月】夜を待って咲く宵待ち草の仲間だが昼間でも花を咲かせる。花はしおれると赤く染まる。



▲ツルナ【4~10月】瀬



▲クス【7~9月】吹



▲シロバナタンポポ【3~5月】吹



▲ノギ【3~7月】吹



▲ハマウド【4~6月】瀬吹



▲シロザ【8~10月】瀬



▲ハマスゲ【7~10月】吹



▲ヨシダケ【8~11月】吹



▲シャリンバイ【5~6月】浜



▲ハマオモト【7~9月】瀬



▲ヒロデツツキ【8~10月】瀬

まだまだあるぞ! 探してみよう 舞阪の植物

吹上

- ヒガンバナ【9月】
- ノビル【5~6月】
- セイバンモロコシ【夏~秋】
- ヤナギハナガサ【夏~秋】
- ヌスビトハギ【7~10月】
- スイバ【5~8月】
- キカラスウリ【7~9月】
- カタバミ【5~9月】
- シロノセンダングサ【8~11月】
- ドクゼリ【6~7月】
- ウツボグサ【6~8月】
- イヌタデ【6~10月】
- マンテマ【5~6月】
- メドハギ【8~10月】
- ヤハズウ【8~9月】
- イタドリ【7~10月】
- スズメノエンドウ【4~6月】
- ホトケノザ【3~6月】
- オオイヌフグリ【3~5月】
- ママコシリヌグイ【5~10月】
- コスズメガヤ【夏】

いかり瀬

- オナモミ【9~10月】
- センニンソウ【8~9月】
- ホンノハマアカサ【8~10月】
- マメグンバイナズナ【5~6月】

表浜

- ナルトサワギク【通年】
- ヘラオオバコ【4~8月】
- マンテマ【5~6月】
- ニワゼキショウ【5~6月】
- コバンソウ【夏】
- カワラナデシコ【7~10月】
- スイバ【5~8月】
- ヤブガラシ【6~8月】
- ヤブマメ【8~10月】
- キンエノコロ【8~10月】
- ゲンノショウコ【7~10月】
- タガラシ【4~5月】
- ウシハコベ【4~10月】
- キュウリグサ【3~5月】